



第1513回例会 会報

1989 (平成1.6.27) 天候 曇

幹事 若生恒吉
 会長 市川輝雄
 クラブ奉仕 佐藤 昇

ロータリーに活力を—
 あなたの活力を
 PUT LIFE INTO ROTARY—
 YOUR LIFE

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓水節雄

出席報告: 会員 91 名 出席 65 名

出席率 75.00% 前回出席率 71.05%
 修正出席 74名 確定出席率 84.21%

会長報告

市川輝雄君

去る23日、羽黒高校の創立27周年記念式典及び体育館落成式が挙行され招かれて出席してきました。ワンフロア1千坪総工費6億5千万の体育館は体育館は高校のものとしては東北一だそうです。

記念講演は日本大学元副総長の鶴沢博士による「動乱期の日本と竜馬をめぐる男達」というお話しでした。落ちこぼれ少年だった坂本竜馬が幕末の日本を動かすに至った生涯と勝海舟や西郷南洲などとの出会いなど興味深い講演をされました。

羽黒高校の進展ぶりは目をみはるものがあり、今後共、青少年問題を含めて、密接な絆を保ちたいものと思います。

幹事報告

若生恒吉君

例会変更

酒田東R.C 7月6日の例会は初例会の
 為に7月6日 6時点鐘

例会場所は同じクラブ協議
 会と懇親会があります。

庄内分区代理 新穂光一郎君より分区代理退任の
 あいさつ状が到着
 会報到着

酒田中央R.C

R I日本支局より R Iニュース

インターアクトニュース

委員会報告

30周年記念誌編集委員会

委員長 石井敬三君

ようやく30周年記念誌が完成致しました。今年度内になんとか完成させたいと考えておりましたが、斎藤印刷さんにご無理願ひギリギリ、最終例会に間に合わせる事ができました。次の例会に配布することになりますが、これでやっと肩の荷がおりました。皆様のご協力に感謝致します。

まずはご報告まで。

ロータリアン日記 ○月○日
最後のロータリアン日記

栗の花が咲きはじめると、青臭い甘い匂いが寺の庭一杯に拡がる。青白い花が少しずつ薄黄色になって、あたかも巨大な毛虫のような姿に変わり、やがて落ちてしまう頃、漸く“つゆ”が明ける。

むし暑さと肌寒さが交互に訪れる季節はとかく体調も崩しがち、数年前の40余名から今は90名を超す大所帯になった幼稚園の子どもたちも、この時期休む子が多い。数日本職?の寺の用事で留守にすると、静から動(やかましい)への意識の転換に暫く時間がかかり、この原稿も筆の進みが仲々思うにまかせない。書き乍ら浮ぶ

次の文章が、職員室に飛び込んでくる子供の声でみごとに飛んで、その時ばかりは思わず「うるさい!」傍らにいる主任の先生からたしなめられる。

ロータリー日記、会長から担当を委嘱され、どうやらやっと一年が過ぎた。本当に執筆を快く?承諾して下さった会員諸氏のおかげであると感謝している。その結果が、地区表彰、しかも最優秀賞になったとすれば、何となく少し鼻が高い気がする。正直な所一年間自分で書くのではなくて、依頼するというのは仲々容易ではなかった。そして最後のしめくくりの原稿が一つ不足して、やっぱりお鉢が回ってきた。

佐々木 詰彦

社会奉仕委員会

次年度委員長 齋藤 昭君

内川清掃奉仕作業を7月2日午前6時～8時まで行います。朝がゆを準備致しますので、大勢の方の参加をよろしくお願い致します。

会長退任挨拶

市川輝雄君



さて、いよいよ退任の挨拶を申しあげることになりました。いささか所感の一端を述べ、そして皆様にお礼の言葉を申し上げたく存じます。

私の年度を要約するならば、昭和から平成への改元の年であり、創立30周年記念行事のあった年であると言えます。共に大きな節目として我々にとって忘れ難い年度となることでしょう。

鶴岡ロータリークラブを一つのオーケストラに見立てた場合、90名の会員は、それぞれ音色の違った弦楽器であり、管楽器であり、打楽器であります。あの記念行事において、特色のあるそれらの楽器がめいめいに勝手な音を出せば、それは耳ざわりな雑音としか聞こえません。タクト一旋、統一されたメロディを、それぞれのパートの最高のテクニックで演奏される時、それは聴く人の心を打ち、感動のあまり涙を誘うことさえあります。大胆に細心に、厳粛に朗らかに、そして伝統あるクラブの個性が、巧まず表現されたすばらしい演奏が、まだ私の耳の奥から聞こえてきます。その「奉仕と友情で奏でる30年の交響詩」という永遠の楽譜が、今日出きあがってきた、この記念誌であります。ぜひ座右におき、折にふれて読み返してもらいたいと思います。

しかし、私の年度にとって、それは一つの大きな催事に過ぎません。とかく大きなイベントがあ

ると、その他の奉仕活動がおろそかになり、陰にかくれてしまい勝ちですが、始めから各委員会の積極的な活躍により、「ロータリーに活力を、あなたの活力を」のターゲットが充分生かされ、予期以上の成果を納めることが出来ました。ロイス・アビーR.I会長の具体的な要請課題に見事に答えてくれたのであります。その詳細については「クラブに活力をもたらしてくれたこの一年を顧みて」と題し、活動報告書に記載しましたのでここではふれません。また皆様も成果の程は充分おわかりのはずです。

今回の規程協議会で、ロータリーの標語「最もよく奉仕するものは最もよく報いられる」よりも「超我の奉仕」をR.Iの第一標語とすることに決定したそうです。このロータリーの道徳律はロータリーの哲学と言われていますが、私達にとってロータリーの心髄とは、あからさまな道徳律ではなく、美しい友情と高邁な奉仕の理想であり、更につきつめると、やわらぎと調和と真善美の世界に到着する気が致します。特に禅の境地を理解し、花鳥風月を愛する日本人には、ロータリーの美学とよぶものがあってもよいのではないのでしょうか。そうした日本の風土から生まれたゆとりある、ロータリー精神、ロータリーの美学といった風なものを、少しでも表現しようとあえて、会長報告らしからざる、会長報告を重ねてきました。それは形の上では、皆様と常に対話している積もりで想を練りました。みみずのたわ言にすぎませんでした。いいたい放題の機会を与えて頂きましたことを感謝申し上げます。

さて、剣聖といわれた宮本武蔵は、五輪の書に「我、事において後悔せず」と書いています。これは何をやっても自分は失敗しないと大言壮語しているのではなく、常に反省し、常に悔む事の多いが故に、自分のしたことに責任をもち、くよくよするなという逆説的な自戒の言葉であります。道を極めた武蔵でさえしかり、今静かに一年を省みて、なせば悔恨、なさざればこれまた悔恨の日々でした。所詮、二流の会長は、二天流の武蔵に及

ばないのであります。

終わりに暖かい寛容の目で見守りながら、ベストをつくして協力してくれました会員の皆様、そして、ただ理事会のコンセンサスを頼りにしてきた私を全面的に支持してくれました、理事役員の皆様に心から御礼申し上げます。なканずく、会長を立て、あくまで黒子に徹して雑事万端をそつなくこなしてくれた若生幹事には、いうべき言葉もありません。本当によい女房役でした。事務局の齋藤とも子さんには、例年の倍働いてもらいました。感謝申し上げます。それにエルサンの皆さんご苦労様でした、今後共よろしく願います。

万感の思いをこめて一首を詠み退任の挨拶を終わります。

… 点鐘の 余韻忘れじ 一年(ひととせ)の
虹追ふ日々を 今し終わりにて …
有難うございました。

幹事退任挨拶

若生恒吉君



この1年間、あっという間に過ぎてしまいました。市川会長初め、会員の皆様の暖かい友情に支えられ幹事の大役を無事おえました事、心より厚く御礼申し上げます。いわき平の地区協議会から始まり、活動計画の作成、いわき平の吉田カバナーの公式訪問、クラブフォーラム、IGF年次大会、30周年記念行事、交換学生の受入派遣と、この1年間は大変忙しい年でもありましたが、多少の不始末と独断と偏見が数多く出て会員皆様に大変迷惑を御かけしましたが、私なりには満足しております。特に例会では、庄司SAA会報委員会の皆様、石川親睦・布施プログラム・秋野出席各委員長さんの特段の御協力にあずかり、誠にありがとうございました。

今月の理事会では理事の皆様の友情で大過なく議事を決定して戴き、理事の皆様に改めて敬意を表します。

3年前市川さんから木村屋の菓子折一つで幹事の指名を受け、多少恨みもしましたが、今となっては大変光栄に思っておりますし、又ロータリークラブの13万円の会費がこんなに安いものかと思うくらいありがたいと思っている次第です。会費が高いと思っている方は、是非会長か幹事をやった方が良くと思いますので、希望したら如何でしょうか。とにもかくにも、この1年間大変勉強になりました。私のこれからの人生には大変役に立つものと確信しております。幹事の任期と共に30年間勤めた東北量水器株式会社を5月末に退社し、今月から正式には8月から同じ商売で、ワコウ工業を設立し独立しました。実は退任あいさつと、退会あいさつとを考えておりましたが、私の能力不足で来た、会計と事業報告書が未完なので、あと暫く在籍しますので、今後共よろしく願ひ申し上げます。

事務局の齋藤とも子さん、エルサン、会議所の職員の皆様にも大変お世話になりました。特にとも子さんには結婚もせず私の為に嫌な顔一つせず御協力して戴きありがとうございました。来年度は是非結婚して下さい。期待しております。会員の皆さん、私同様次年度の佐々木幹事にもよろしく願ひ申し上げ幹事退任のあいさつとします。どうもありがとうございます。

お二人に心から感謝の言葉を申し上げたいと思います。



カット 石井敬三君

会長・幹事を

ねぎらう言葉

中江 亮君



お二人に心から感謝の言葉を申し上げたいと思います。

凡そクラブ発展の要素は委員会活動の成果であり、その成否の一因は会長の強固な理念と指導力にあることは論を俟た

ないことでありますが、更にはクラブ幹事がベアリングの役目に徹して両者の間で献身的な奉仕をすることが大切ではなからうかと思ひます。

クラブの主権を代表する会長は、ロータリーの定款や細則を十分に理解した上で、強い自主性を強調した委員会活動を促がすものであって、卑しくもR.Iから下ろされた規格品を鵜呑みで売らさばく、所謂産地直送販売の代理人ではないと思ひます。

市川会長は過去の経験を活かして十分に、この点に配慮され会員の意志を尊重しポリオプラス、女性会員問題、その他多くの問題を抱える情報委員会の活動を、各部門のクラブフォーラムの形で処理を促がし大事な問題点はすべて会員レベルで討論をし、かなりの理解を納めたことはクラブ創立以来初めての企てでありました。

市川会長は、年度の初めに一流の会長を目指して苦しむより、二流に徹してクラブのために平常心で力を尽し、併せて自分なりにロータリーライフをエンジョイしたいと宣言されました。例会に於けるスピーチの内容は豊富で、時には文学・歴史、時には社会・芸術など多彩であり、ウィットに富んだ話題で人を引き付け、その語りかけは物静かであり、優雅である反面、強い自信に満ちた

ものであったことは会員一同均しく感じていることと思ひます。徒然草から奥の細道迄、数々の詩歌や俳句を話の引き合いに出したかと思うと、自作の名句を披露するあたり、結構宣言通りロータリーを余裕を持って楽しんで居られた様でありました。

このクラブは必要に備えて人材を豊富に温存していると、先輩の口からよく聞きますが、市川会長、若生幹事は正に30周年記念大事業やIGF等、多彩で多忙な年度のために取って置いた人材であったかと思ひます。

特に30周年記念行事の企画・実行にはコンビを組んで実行委員会をリードし、クラブ内外にその見事な成果を高く評価された功績は、敬天愛人の碑と共に永く讃えられるものと信じています。

クラブ運営では意見は遠慮なく言い、時には会長と意見を異にすることがあっても、あく迄も会長を立て、決して会長の色があせることはしないと云った、若生幹事の絶妙なクラブ運営は、会員一同から信頼と尊敬を集めたことは特筆されるべきであり、私たち会員一同、この名会長、名幹事コンビのご苦勞に対し心から深い感謝の意を込め、盛大な拍手を以て、その勞をねぎらいたと思ひます。

市川さん、若生さん本当にご苦勞様でした。

また、同じく一年間非常にご苦勞された、分区代理の新穂光一郎君と、その補佐をされた分区幹事の佐藤元信君に対しても同じく盛大な拍手をもって、勞をねぎらいたと思ひます。どうもありがとうございました。

スマイル

- 市川輝雄君 一年間ご協力ありがとうございました。また、これからは本当においしい食事が食べられると思って喜んでいます。
- 若生恒吉君 先程は丁重な労いの言葉、ありがとうございました。一年間どうもありがとうございました。
- 新穂光一郎君 分区代理として一年間、未知の人間と未知の土地との新しい出会いをエンジョイさせて戴き、特に分区幹事の佐藤元伸君のパーフェクトな友情にご協力に感謝して。
- 笹原桂一君 赤川スポーツランド(株)での赤川ゴルフ場が6月の22日竣工式を行ない、23日からオープンしております。連日100人以上のプレーヤーが来場しており、皆様の健康増進のためにも大いにプレーを楽しんで下さい。
- 玉城俊一君
- 笹原信一郎君
- 飯野準治君
- 斎藤昭君 姉妹クラブ委員長として一年間大変お世話になりました。特に30周年記念事業については、台中港区或は鹿児島西クラブの応待に皆様の絶大なご協力を頂きました。
- 中江亮君 会員増強の面で一年間皆様のご協力を得て、何とかかっこうがつけられました。ありがとうございました。
- 三浦恒祺君 6月17日～21日の間、有楽町朝日アートギャラリーで光陽会山形支部「ンダング展」を開催、大変好評盛大に挙行することができました。
- 高橋良士君 次年度の7月からよろしくお願ひ申し上げます。
- 石井敬三君 皆様のご協力により30周年記念誌が完成できましたことと、一年間会報に私のカット絵を載せて戴きまして感謝申し上げます。
- 佐藤元伸君 分区代理の新穂光一郎さんに大変ご指導頂きながら、お蔭様で分区代理幹事の役を何とか終わることができました。
- 松田志郎君 6月13日、山形県法人連合会にて、鶴岡法人会で永年役員をしていたということで表彰を受けました。また、20日に社員旅行でソウルに行き、益々韓国が好きになりました。
- 佐々木 喆彦君 来月の初回例会からよろしくお願ひします。会長がスマイルしましたので私も。それからロータリアン日記、皆様から切れ目なく原稿を戴き感謝します。現会員数は3年前に比べ大幅に増え、91名になっておりますが私が幹事になっても減ることのないようご協力を。
- 御橋義諦君 日本軟式庭球連盟から功労賞を戴きました。6月24日他の仲間8名が盛大に祝賀会を開いて貰いました。荘内日報さんの取材に感謝。
- 三浦正志君 (鶴岡西クラブ) この一年間大変お世話になりました。市川会長及び若生幹事からずっとお世話になりました。話をさせて戴くかわりにスマイル致します。
- 佐藤昇君 今年度クラブ奉仕委員会の方々に活躍して戴き、会報では最優秀賞、会員増強では目覚ましい増強をみています。これらに感謝して。
- 秋元順雄君 6月23日の創立記念式典並びに総合体育館落成式には皆様のご参加を戴き、有難うございました。私も同日、20年勤続表彰を受けました。また原信夫さんらと硬い握手もできましたので。
- 村上龍男君 アシカの仲間でオタリヤというのがありますが、うちの水族

館にオスが一頭いまして、この度四国の屋島からメスを嫁とりしましたので。

庄司俊治君

この一年間SAAとして、いろいろとご協力戴き有難うございました。また、この30日で荘内日報の紙令が1万5千号となりました。(S21. 1. 1より)会員の皆様より特集号編集にあたり協賛広告を戴き、また記念事業として文化講演会等を開催させて戴き有難うございました。

村中文章君

この度、羽黒高校体育館の電気設備工事をさせて戴き、有難うございました。

佐藤元伸君

同じく私の方は機械設備関係をさせて戴きました。先程一回ですませればよかったです再度。

山口篤之助君

世界社会奉仕委員会の方から会員の皆様の事業所のCMを会報に掲載させて戴きました。会報委員会と皆様にお礼申し上げます。

布施隆夫君

6月8日に全国スバル販売店の中で占有率第1位の表彰を受けました。皆様のご支援に感謝致します。また6月9日



宝田に新中古車センターを開設。更にこの一年間プログラム委員長として大変お世話になり、有難うございました。羽黒高校に23日招待を受けた折、講師の小川先生は昔の恩師で、27年振りに会いました。昔授業を受けた成績が「優」でありましたので。

矢口良行君

一年間、ソングリーダーをさせて戴き、ありがとうございました。

川上栄樹君

秋野昭三君

一年間、ご協力ありがとうございました。

石川寿男君

最終例会に花を添えるが如きすばらしいスマイルありがとうございました。

ビ ジ タ ー

三浦正志君 (鶴岡西R.C)

※ この後、年度最終例会としての懇親会を親睦委員長石川寿男君の開宴挨拶、直前会長吉野勲君の乾杯発声により開催。

一年間の反省と次年度での友情並びに親睦を期して楽しく歓談後ロータリーソング「手に手つないで」を全員で合唱後20:30閉会した。

